

吉野ヶ里町立東脊振小学校

学校教育目標

# 校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

児童数 356名 No.75

令和3年7月12日

文責 校長 林 寛ボカもん



## あいさつがんばろう週間の取り組み

4年生以上の6学級の代表と10ある各委員会の代表が集まって話し合う代表委員会(6月15日)で、「あいさつじょうずなあかるい東脊振小にしよう」という議題が話し合われました。話し合いの結果、2つのことが決まりました。ひとつは7月1日(木)～8日(木)までの期間を『あいさつがんばろう週間』として、全校児童であいさつ運動に取り組みました。下学年と上学年の昇降口に当番のクラス全員が出てきて、朝のあいさつをしています。もうひとつは、同じ期間の「あいさつ名人を見つけよう」という取り組みで、自分がいさつをした人の人数を数えたり上手な人を見つけたりしてあいさつ名人を探しています。ボランティア委員会が中心になって取り組みを進めてくれています。全校児童で取り組むことで「気持ちのよいあいさつや正しいことばづかいをしよう」という毎月の生活のめあての達成にも近づけるかなと思います。



## 人権擁護委員さん来校 ～SOSミニレター～

7/7(水)の朝の時間を使って、人権に関する話や「SOSミニレター」に関する話をさせていただきました。本来なら、体育館などで子供たちに直接お話をさせていただいているのですが、校長室のカメラから、各教室のテレビを通す形になりました。勝手に違い、話しにくさがあられたかと思いますが、優しく子供たちに語りかけていただいています。合わせて子供たち全員にきれいな色の鉛筆をいただいています。

吉野ヶ里町内の人権擁護委員さん4名(西村様、古賀様、山崎様、豊留様)に来校していただき、7



電話で相談  
電話料金はかかりませんよ。携帯電話・スマートフォンからもかけられますよ。  
子どもの人権 110番  
0120-007-110  
相談時間：月曜日～土曜日 午前8:30～午後5:15 ※土曜日、日曜日、祝日、年末年始は受付できません。

メールで相談  
活動者のホームページでも相談を受け付けていますよ。  
子どもの人権 SOS-メール  
https://www.jinkengo.jp/kodomo  
インターネット相談  
QRコード

## お茶の入れ方教室

7月6日(火)に3年生が多良正裕先生(日本茶アドバイザー)に日本茶の入れ方について指導をしてもらいました。めったに入ることがない家庭科室での実習になりました。急須に茶葉を入れ、人数分の湯飲みに入ったお湯を移して90秒数えます。お茶の濃さが同じになるようにつぎ分けますが、最後の一滴が『黄金の一滴』と言われるとのことで、どの湯飲みにもそれが入るのかを興味深く見ていました。90秒の数え方が班によって違うため、苦みが出る班もありましたが、茶葉を変えて飲み比べまでしていました。急須でお茶を入れる家庭は少なくなっているようで、貴重な体験になったと思います。



## 夏休みのプール開放について

新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、夏休み中のプール開放は今年も中止となっています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

※ 毎朝の登校前の健康観察と検温もお願いします(本人や同居家族にかぜ症状がある時は登校させない)。